

**製品名: COX5b ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab09277**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	IHC, ICC/IF, ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率 IHC 1:100-1:300, ICC/IF 1:50-1:200, ELISA 1:10000-1:20000

分子量

**抗原情報**

遺伝子名	COX5B
別名	COX5B; Cytochrome c oxidase subunit 5B; mitochondrial; Cytochrome c oxidase polypeptide Vb
遺伝子 ID	1329.0
SwissProt ID	P10606
免疫原	抗血清はヒト COX5B 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 11-60

**背景**

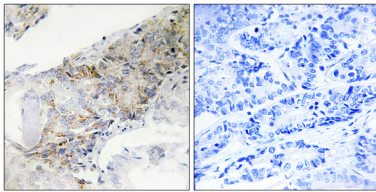
シトクロム C 酸化酵素 (COX) は、ミトコンドリア呼吸鎖の終末酵素です。シトクロム C から分子状酸素への電子伝達を担い、ミト

コンドリア内膜を介したプロトン電気化学的勾配の形成に寄与する、多サブユニット酵素複合体です。この複合体は、ミトコンドリアおよび核にコードされた13個のサブユニットで構成されています。ミトコンドリアにコードされたサブユニットは、電子伝達とプロトンポンプの機能を担っています。核にコードされたサブユニットの機能は不明ですが、複合体の調節と構築に関与している可能性があります。この遺伝子は、ヒトミトコンドリア呼吸鎖酵素の核にコードされたサブユニットVbをコードしています。[RefSeq提供、2008年7月]、機能:このタンパク質は、ミトコンドリア電子伝達系の末端酸化酵素であるシトクロムc酸化酵素の核コード化ポリペプチド鎖の1つです。類似性:シトクロムc酸化酵素サブユニット5Bファミリーに属します。、

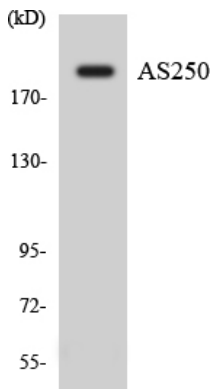
## 研究分野

酸化的リン酸化、心筋収縮、アルツハイマー病、パーキンソン病、ハンチントン病、

## 画像データ



COX5B抗体を用いたパラフィン包埋ヒト乳癌組織の免疫組織化学染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした状態。



AS250抗体を使用したHUVEC細胞からの溶解物のウエスタンプロット分析。